

沢之町公園周辺地区

(大阪府大阪市)

- 計 画 期 間 平成 17 年度～平成 21 年度
- 面 積 52ha
- 交付対象事業費 3,590 百万円
- 市人口 2,669,028 人
(区人口 155,600 人 地区内人口 11,643 人)

ポイント 地域コミュニティの活性化と
災害に強いまちづくり

地区概要 人々が集い憩う場所として地区一帯が地域交流のシンボリックエリアとなり、地域コミュニティが活性化することを目的として、公園・区民ホール・コミュニティセンター・図書館・区役所を一体整備する。

また、この地を防災活動拠点として整備することで災害に強いまちづくりを推進する。

- 目 標**
1. 区民のコミュニティ活動・生涯学習活動の拠点整備となるよう住民主体のまちづくり
 2. 防災機能の充実
 3. アメニティ豊かなまちづくり

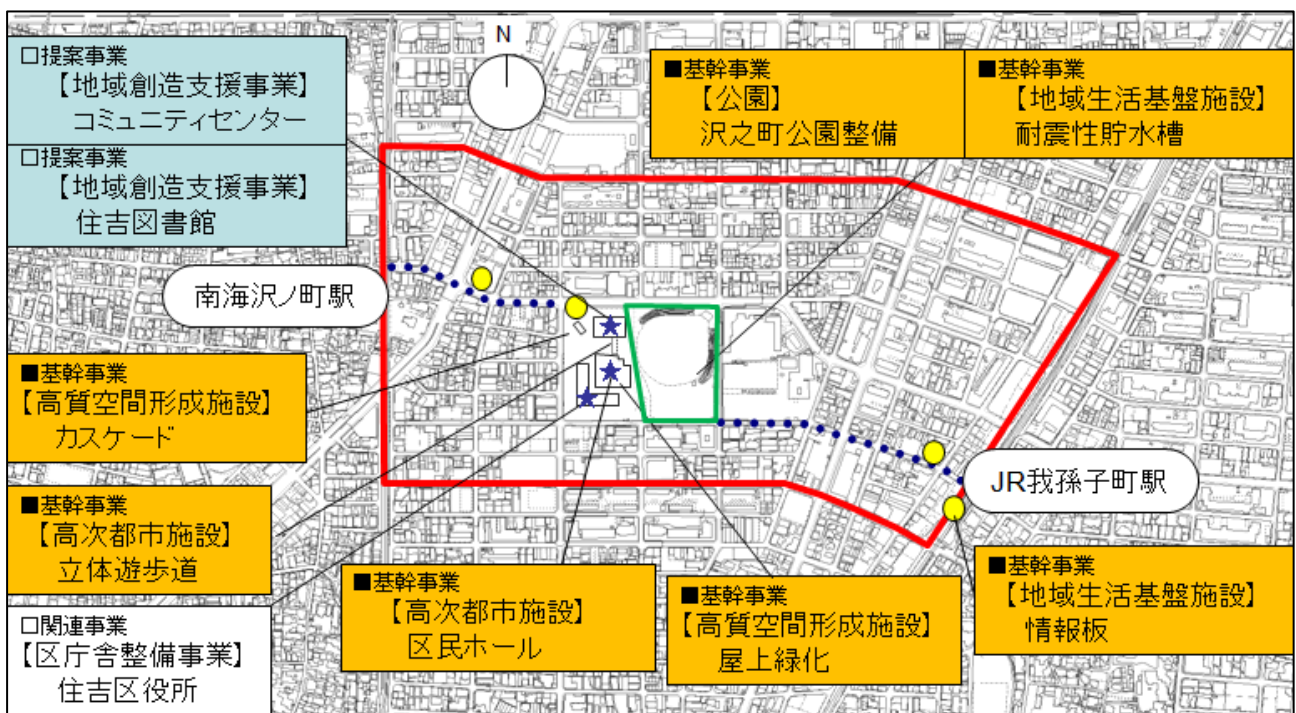
指 標

1. 地域コミュニティの活性化の状況を示す指標
2. 防災機能の充実の状況を示す指標
3. まちづくりへの住民参画の状況を示す指標

区民ホール利用者数(人/年)	134,000 (H14)	→	325,000 (H21)
飲料水用耐震性貯水槽の飲料水確保量(人)	0 (H15)	→	44,000 (H21)
ボランティア活動参加者数(人)	0 (H16)	→	270 (H21)

事業内容

基幹事業 (2,656 百万円) → 【公園】(1カ所 約 25,000 m²)、【地域生活基盤施設】耐震性貯水槽・情報板 (4カ所) 【高質空間形成施設】屋上緑化・カスケード、【高次都市施設】区民ホール (4,320 m²)・立体遊歩道
提案事業 (934 百万円) → 【地域創造支援事業】コミュニティセンター (880 m²)、図書館 (1480 m²)



地区の現況と課題

当地区を含む地域の既存のコミュニティ施設では、地域の多様な文化的ニーズに応えていない状況にあり、また、地域の防災活動拠点の整備が求められていた。

提案事業の特徴

コミュニティセンター・図書館と他施設の一体整備

公園・区民ホールと一体的にコミュニティセンター・図書館を整備することにより、区民のコミュニティ活動・生涯学習の活動拠点となるとともに、人々が集い憩う場所として、地区一体が地域交流のシンボリックエリアとなり、アメニティ豊かなまちづくりが期待できる。

まちづくりの効果、持続的取組み

区のシンボルとしての機能発揮

公園と各施設の一体整備により、連続性と回遊性が生まれ、区民により親しまれる区のシンボルとして機能しており、区民の憩いの場として好評を得ている。

また、防災の観点からも各施設の連携が容易となったとともに、広いオープンスペースが確保できたことにより、効率的な防災活動の展開が可能となった。

大阪市長 平松 邦夫のコメント

当地区においては、これまで、コミュニティ活動・生涯学習活動の拠点施設である区民センター、図書館が点在しておりましたが、今回の整備により災害時における広域避難場所となる沢之町公園とともに、これらの施設を一体化して整備することができました。

その結果、地域住民が世代を超えて集える空間が整備され、地域コミュニティがより活性化し、アメニティ豊かなまちづくりへの一歩を踏み出すことができたことは、大変意義深いことでもあります。

今回の受賞を契機として、誰もが安全かつ安心して暮らせる市民協働のまちづくりの拠点として、より一層地域の皆様方に有効活用いただきたいと考えております。

地域代表 大阪市住吉区地域振興会 奥井史朗会長のコメント

住吉区では、区役所や区民センターの建替えにあたり、「同じ整備をするなら将来に夢のある地域にしたい」という思いから、「地域コミュニティの活性化と災害に強いまちづくり」をテーマに議論を重ねてきました。決定に至るまでにはいろいろと調整に苦労しましたが、竣工時に市長から祝辞をいただいた時は、それまでの苦労が一遍に吹き飛び、やってきて良かったと感激したのを覚えております。

今では、区の中心部にアメニティ豊かで、賑わいのある施設が整備されたことは区の誇りであり、地元としても大いに喜んでおります。

このたび、「まちづくり効果賞」を受賞したとお聞きし、これまでの地域の想いが形になり、地域の活動を評価していただいたものと大変感謝しております。

